

製品名: リン酸化 AP2M1 (Thr156) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87683**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | 組換えウサギモノクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB |
| 反応性 | ヒト、マウス、ラット |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | リン酸化 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | モノクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。 |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|--|
| 希釈倍率 | WB 1:1000-1:5000 |
| 分子量 | Calculated MW:50 kDa; Observed MW:50 kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|--|
| 遺伝子名 | Phospho-AP2M1 (Thr156) |
| 別名 | mu2; AP50; CLAPM1 |
| 遺伝子 ID | 1173 |
| SwissProt ID | Q96CW1 |
| 免疫原 | ヒト AP2M1 の Thr156 を囲む残基に対応する合成リン酸化ペプチド |

背景

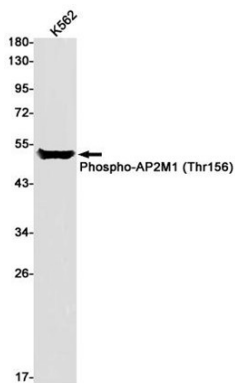
この遺伝子は、アダプター複合体中サブユニットファミリーに属するヘテロ四量体コートアセンブリタンパク質複合体 2 (AP2) のサ

ブユニットをコードしています。コードされているタンパク質は、エンドソームおよびリソソームの酸性化において起こるプロトンポンプを担う液胞 ATPase の活性に必須です。また、コードされているタンパク質は、CTLA-4 タンパク質の細胞内輸送と機能の制御においても重要な役割を果たす可能性があります。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする 3 つの転写バリエーションが見つかっています。[RefSeq 提供、2015 年 7 月]

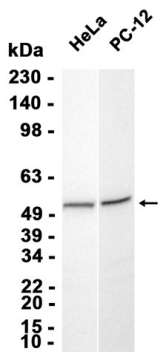
研究分野

-

画像データ



Phospho-AP2M1 (Thr156) 抗体 (1:1000 希釈) を使用した K562 細胞溶解物中の Phospho-AP2M1 (Thr156) のウエスタンブロット検出。



AMRe87683 を 1:1000 で使用して HeLa、PC-12 細胞抽出物のウエスタンブロット分析